

2019年度トキワ松学園中学校適性検査型入試について

1、出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 身近な生活の中に見出した課題に対して、背景や条件などを整理し、自分の知識や経験を生かして分析し、推理力をはたらかせたり論理的に考えたりして解明していく力をみる。
- (3) 課題の解明に向けての自分なりの考えや意見を、根拠などを明確に論理的に表現し、他者に伝える力をみる。

2、適性検査問題における問題の構成および主なねらい

(1) 適性検査Ⅰ（45分）

- ・ 適性検査ⅠAまたはⅠBより選択する。評価はいずれもAからCの三段階でおこなう。
- ・ 適性検査ⅠAは、資料をみて考えたことを500～600字で作文する。自分の意見を的確に文章にまとめる力や、論理的に表現する力をみる。
- ・ 適性検査ⅠBは、2つの文章に関する読解問題と、300～400字で作文する問題で構成する。資料を読み取る力、自分の意見を的確に文章にまとめる力、論理的に表現する力をみる。読解部分と作文部分について、評価の配分は1対1とする。
- ・ 作文は、①問題文のテーマに沿った文章か、②段落構成を含めた論理の組み立てができているか、③漢字の適切な使用など小学校6年生として適切な文章か、以上3点を基準に採点する。

(2) 適性検査Ⅱ（45分）

- ・ 大問3で構成し、それぞれに小問を設定する。問題に提示された場面設定や情報をもとに、資料を読み取る力や、読み取った内容を表現する力、思考する力や思考の過程を表現する力をみる。
- ・ 満点は100点として採点する。問題に途中式や作業の経過を残すように指示されているものは、途中点を設定する。

問題用紙の大きさについて

- ・ 解答用紙の大きさは適性検査Ⅰ・ⅡともA3です。

適性検査ⅠAとⅠBが対応する入試について

- ・ 適性検査ⅠAは、東京都立桜修館中等教育学校の適性検査Ⅰに対応しています。
- ・ 適性検査ⅠBは、川崎市立川崎高校附属中学校および東京都立の共通問題に対応しています。